



第58号

2016年11月15日発行

発行所

社会福祉法人日本キリスト教奉仕団
障がい者総合福祉施設アガペセンター
〒252-0002 座間市小松原2-10-14
TEL 046-254-7111 FAX 046-255-2915

ホームページアドレス

<http://www.agape-jcws.com>

sara 十年のプログレス

就労支援課課長

鈴木 康洋

二〇〇六年十一月に、アガペ第2作業所の開設と共に産声を上げた『カレーキッキンsara』は、お客様、利用者の皆さん、職員等に支えられ、今年で無事十周年を迎える運びとなりました。誌面をお借りして、これまでsaraを支え、ご愛顧いただきました皆様へ感謝申しあげます。

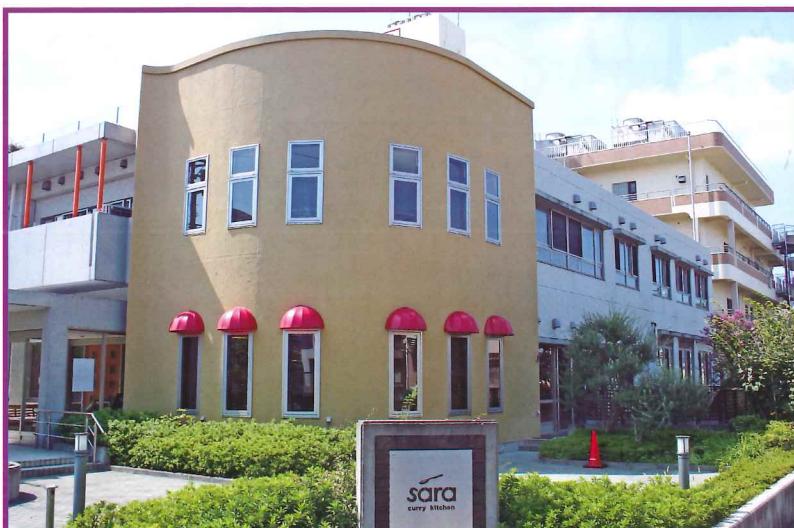
カレーキッキンsaraの起源は、一九八〇年より続く「アジア交換研修」にあり、「(アジアの)彼らに因んだメニューを!」と言うことで、アジアのイメージと、老若男女問わず、皆に愛される食べ物として、カレーが選ばれました。また、「sara」の由来について、「女神のサラ。まっさらのサラ。お皿のサラ」からきていることは、saraを愛して止まない皆様にとつては、周知の事実であることと思われます。

そのようなsaraですが、十年といふ長い歳月をかけ、地域の中で少しずつ口コミで広がっていき、お昼時にはとても多くのお客様で賑わうお店にまで成長を遂げることができました。

用者の皆さんの励みとなり、仕事に対するやりがいへとつながっていきます。一つのエピソードとして、「また皆に会いにきたよ。」とお客様に仰っていた 것입니다。それは、利

用者の皆様のお声は、利

用者の皆さんの励みとなり、仕事に対するやりがいへとつながっていきます。後ともよろしくお



また、常連のお客様より、地域のイベントのお声かけをいただき、出店につながる等、地域に密着し、愛されるお店となっています。

『カレーキッキンsara』は、利用者の皆さんの成長を育む「仕事の場」お店となります。

『カレーキッキンsara』は、利用

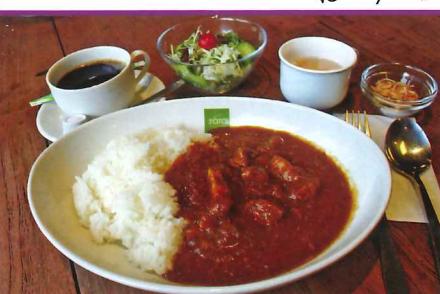
者の皆さんが一生懸命に頑張っている接客が認められた証明であり、最大級の賛辞であると感じました。その言葉を、利用者の皆さんにお話したところ、とても喜ばれ、すぐに『お客様に喜んでいただくためにはどうするべきか?』というテーマでミーティングが盛りあがりました。そのように、お客様が利用者の皆さんを成長させてくださる、とても素晴らしい環境であると感じております。

カレーキッキンsaraは、次なる目標の二十周年に向け、突き進んでいくこうと思います。十年という節目を迎える中で、厨房機器等の不具合も目立つてきております。今後、美味しいカレーをお客様にお届けするために、施設整備等しつかり整え、新たなステージを迎えるたいと思います。

「地域のお客様に愛され、成長して

いく」カレーキッキンsaraを今

願いいたします。



食事で笑顔を

管理栄養士 佐藤 まどか



二〇十六年三月よりアガペセンターの食事面を担当することになりました管理栄養士の佐藤と申します。

アガペセンターには、入所、通所、短期入所、デイサービスと利用される方はさまざまです。年齢層も十代から七十代と幅広い年齢層の方にご利用いただいています。

日中の活動量や体格も個々人で大きく異なるため、食事量、食事内容に配慮しています。

メニューは、古くから日本にある行事（端午の節句、七夕等）を大事にしながら、季節を感じられるよう工夫しています。

皆さんは、好きな料理を目の前にした時、どのような表情をされますか。

私は、目じりが下がって、ニヤニヤしてしまいます。何の料理かな？とワクワクしてきます。さら

に美味しければ笑顔になります。このように食事には、人を笑顔にするパワーがあると思います。元気の源は食事から！ 一人でも多くの方の笑顔が増えるよう努力していくます。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。

揚げ物ですが、今年八月に給食開始以来、初めて『アイス』がデザートとして出た時は、大変好評で、次回を楽しみにしている利用者さんもたくさんいらっしゃることでした。

「施設の食事で何か言いたいことは?」と伺つたところ、「栄養士が食事時によく来てくれるのと、その時に気がねなく言っています。いつも食事が楽しみです」と笑顔が返ってきました。

食事は味付けや献立も大切ですが、利用者さんの中に「安心」を得ることも食事の美味しさや楽しさつながっているのだと思いました。

特集

アガペの食事

人気メニュー
【おかず部門】
★ラーメン
★うな丼
★ミニネストロー

人気メニュー
【デザート部門】

地域支援課の
利用者(ティーサービス)
のみなさんに
好きなメニューを
聞きました♪

こんなメニューも
ご意見あがりました♪

★ピーマンの肉詰め
★ハンバーグ
★えびしゅうまい
★マカロニサラダ
★オムレツ



スマイル開所記念食 メニュー 赤飯、コンソメスープ、鶏の唐揚げ、 マフのあんかけ、スパゲティーサラダ

では、主に六名の調理担当を中心にして、「家庭的な美味しい食事」をテーマに食材の切り方、盛りつけ方、味付け等は、その日の調理担当のセンスに委ねられています。調理担当のコメントを、ご紹介いたします。

ケアホームスマイル・スマイルⅡ
生活支援員 高田 孝行

入居者さんの年齢や活動量などが異なるため、生活習慣病などの健康面に対して、それぞれに食事量の配慮を行っています。入居者さんが、苦手な食材を食べることができた時や、「美味しかった。」と笑顔になつたときが嬉しく、日々のモチベーションになつています。

生活に欠かせない食事。笑顔いっぱいになる食卓を目指し、これからも食事を提供していきたい

楽しい給食提供のために SKEM活動の取り組み

今回は、主に給食について取り組んでいます。KEM活動について紹介したいと思ひます。

K||給食、E||エンジョイ、M||盛りあげよう、をモットーに、安心・安全で楽しみを感じられるような給食提供のために様々な取り組みを展開しています。

★BBQプログラムについて



三月二十三日に初の試みとなる「もくばーべーQ！」（職員の厳正なるコンペで決定したタイトルです！）が開催されました。暖かで力強い日差し、そしてコンロからの情熱的な熱気、次から次へと焼きあがる肉。その様子を見て、利用者の皆さんもそれぞれに雰囲気を盛り上げ、楽しめました。

利用者の皆さんもそれぞれに雾どりかひじき煮というメニューから、どちらか食べたい物を選んでいただきます。また、デザートにかけるソースを選択する日もあります。

利用者の皆さんは、選べて嬉しい方もいらっしゃいますが、選ぶことが難しい方もいらっしゃいます。たとえ選ぶことが難しくても、食べることは「楽しい！」と思われている方もたくさんいらっしゃいます。」見た目のわかりやすさを改善して、後も食べる楽しさを求めて検討していると思います。



生活支援員

郡山伸幸
瀬川和之
田村早枝
風間崇之

給食は日々の活動の中でも、皆さんにとっても楽しみにされている時間です。四月から新しく椎野栄養士を迎え、皆さんの笑顔と健康のためにこれからも新しいことに取り組んでいきます。

メニューは焼きおにぎり、お肉、野菜、ワインナー、チョコバナナでした。皆さんあつたという間に完食されていました。

設備投資もバーベQコンロが次の出番を待っています。

もくせい園

活動報告

★給食の選択について

“自分で選ぶ”という機会を作るためになりました。例えば、茹で豚か工ビ玉、ハムサラダか卵サラダ、刻み昆布炒め煮かひじき煮というメニューから、どちらか食べたい物を選んでいただきます。また、デザートに



青空からのエール ♪アガペ祭一〇十六

アガペ祭委員長

小田中 博志



七月二十六日未明、神奈川県下で起きた事件によって実行委員会は沈み込みがちでしたが、「こんな時だからこそ、多くの皆さんにお越しいただけるような明るく楽しい交流の場を作ろう。」と、前向きに準備が進められました。

とつておきの青空となつた十月十五日、恒例のアガペ祭が開催されました。



そして当日。座間市少女マーチングバンドの皆さんによる力強い演奏や、模擬店から響く元気なかけ声、初企画となつた「大声大会」参加者の皆さんとの声の数々が青空にこだまして、まるで障がいのある方々へのエールのように感じられるひとときとなりました。

参加、協力、そして元気を届けていた皆様に心より御礼を申し上げます。



季節の花をたくさん抱えて、「サイレントフットでくす。」と受け付で明るく声をおかけになり、アクティビティ活動のため

に定期的に来所されるサイレントフットさん。

覚えたら二度と忘れない印象的なお名前。どの

ような活動をしている団体なのでしょう、という

ことで今回、「NPO法人車椅子の会サイレントフット」

佐藤利幸会長に活動内容をご紹介いた

アガペを支える人々



サイレントフットは、車椅子利用者を中心に、身体の不自由なお年寄りや子どもたちが、安心して生活できる町づくりを行っています。アガペセンターホームでは二ヶ月に一度、知香流本多香勝先生の御指導でフリー教室（ハートフリー教室）を開催しております。今年で二年目を迎えた十回目の開催から相模原市「ゆめの芽ファンド」の助成協力を得るこ

とが出来ました。参加者の皆さんとボランティアさんと一緒に、車椅子の会サイレントフットでくす。」と受け付で明るく声をおかけになり、アクティビティ活動のため

初めて、身体の不自由なお年寄りや子どもたちが、安心して生活できる町づくりを行っています。アガペセンターホームでは二ヶ月に一度、知香流本多香勝先生の御指導でフリー教室（ハートフリー教室）を開催してお

ります。「しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない」ヨハネによる福音書十六章二十二節

わたしの聖句

アガペ壱番館 井上 正子

との、ふれあいの中から生まれる作品と笑顔には、いつも楽しい時間を感じます。これからも皆さんの笑顔を励みに頑張ります。

- 参考者募集しています
- （主な活動）
 - 「ハートフリー教室」
 - 「障がい者施設で行うカルチャー教室（マラソン）
 - 「メリ&レイ心の贈り物」
 - 「障がいの有る女性ユニット『メレンゲライト』が心の歌を届けるライブイベント」
 - 「未来に繋がる心の伝言」
 - 「小・中学校を中心に行う講和・公演の活動など様々な活動を行っています。詳しくは左記ホームページをご覧ください。

同窓生は今



清水 美鈴さん

現在のお仕事について教えて下さい。

私は特例会社薬樹ウイル株式会社に勤めています。薬局なので、クリーニングされた薬剤師さんの白衣の発送を行ったり、その他ラベル貼りや入力作業などを行っています。

働いてみてどうでしたか？

最初は難しいこともありました
が、少しづつ慣れてきて、今は新しい仕事にもチャレンジしています。

働いてうれしかったことは何ですか？

仕事を任されてこなすことができる
ことがうれしいです。会社の人とも仲良くなれて楽しく過ごしています。

休日はどのように過ごしていますか？

月に二～三回学生時代の仲間とバ
スケをして気分転換しています。

アガペの利用者さんに一言お願いします。

前向きにあきらめず頑張ってくだ
さい。

競輪補助事業完了のお知らせ

この度、平成二十八年度の競輪の補助事業を受け、第二作業所就労支援事業飲食部門カレキッキンサラに新しい「高温高圧調理殺菌装置」を設置することができました。これによりレトルトカレーの製造が安定的かつ生産数増が可能となります。ご家庭でも、サラカレーをぜひご賞味下さい。



RING! RING!
プロジェクト



社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団
障がい者総合福祉施設 アガペセンター

- ・障がい福祉サービス事業所
アガペ第1作業所・第2作業所
- ・障がい者支援施設
アガペ壱番館
- ・障がい福祉サービス事業所
生活介護事業
相談支援事業（総合相談室）
アガペサポートセンター
- ・障がい福祉サービス事業所
座間市立もくせい園
(〒252-0014 座間市栗原中央6-7-27)
- ・児童発達支援事業
座間市サニーキッズ
(〒252-0021 座間市緑ヶ丘1-2-1
総合福祉センター（サニープレイス）内)
- ・障がい者グループホーム
ケアホームスマイル
(〒252-0001 座間市相模が丘2-32-24)
スマイルⅡ
(〒252-0001 座間市相模が丘2-32-2)

※写真は関係者承諾の上、使用しています。

